

2019年 区政報告会での福井りょうじ区議会議員のお話（要旨）

文責 笹山 尚人
(かざぐるま会長)

2019年1月27日、かざぐるまは、区政報告会を行いました。
福井りょうじ区議会議員が、区議会の状況について報告を行いました。
そのお話の要旨は、以下の通りです。

● 日本共産党大田区議団は区議会の中で役割を果たしている

大田区議会のホームページによれば、「区議会では、区や議員からの提案をもとに区民の身近な問題を話し合い、区の条例や予算・決算などについて定めます。また、議会で決めたことが正しく行われているか、区民の暮らしにどのように役立っているかをチェックします。」とあります。

私たち日本共産党大田区議団は、このホームページの説明に照らしても、区議会議員として役割を果たしてきたと自負しています。

この4年間で、条例提案は19件行ってきました。給食費無料化や、介護応援手当の創設といった提案です。

4年間に区長提案の案件は、483件ありました。私たちは、237件に賛成し、246件に反対しました。反対したものは、「老人いこいの家廃止」「学童保育料の値上げ」「国民健康保険料の値上げ」といったものでした。

私たちがこうした対応をする観点も、党是である、「国民の苦難軽減に寄り添う」というものでした。私たちはこの観点から、「議員からの提案」を行い、「区民の暮らしにどのように役立っているかをチェック」する活動を行っています。

2018年11月に開かれた私が所属する健康福祉委員会において、議事録の中から、どの会派がどれくらいの発言を行っているかを点検してみたところ、日本共産党の発言は、発言全体の56.3%を占めます。私たちは、このように「話し合い」にも積極的に参加をしています。

なお、他会派の中には、自民党会派のように、1件も条例提案を行ったことがなく、また、区長提案に反対した実績も1件もないという会派が三つあります。これで「議員からの提案」や、「チェック」の役割を果たしているのかと疑問を覚えます。また、2018年11月の健康福祉委員会においては、自民党会派ら二つの会派からの発言は全くのゼロでした。

● 区民の利益とならない大規模開発に反対する

2018年の第4回定例会で、松原区長は、出馬表明をしました。その理由とするところは、「新空港線蒲蒲線」問題と、「羽田空港跡地開発」問題を前進させること、の二つでした。

しかし、この二つの計画は、いずれも区民の利益にならないのに、巨大な税金を無益に投入するものと考えています。

例えば、現在の計画で新空港線蒲蒲線が実現した場合、東急池上線沿線の住民のみなさんですと、東急蒲田駅に一度行き、そこから地下50メートルまで降り、地下の新駅から乗換え、1駅進んだ産業プラザ付近の地下駅で降り、そこから再び地上にのぼって京急線の京急蒲田駅に乗

り換えるというものです。このような面倒な乗換をするより、J R 蒲田駅から出ているバスや、京急線に乗り換えるにしても徒歩で進めば十分ではないでしょうか。しかしこうした路線の推進のために大田区は 48 億円もの積み立てをしているのです。

羽田空港跡地開発において、ここはもともと緑地化する予定でした。しかし、ここを商業施設スペースに開発するというのです。そのために、この土地を 1 平米 600 円で鹿島建設等に貸し出すというのですが、その一部について区が逆に借り受ける、その際の賃料は 6,000 円だというのです。

しかもこの施設には、20 社ほどしか関与できないとされており、大田区内にある約 3,000 社あるという中小企業の支援に役立つものになっていません。

区民の利益にならないうえ、税金の無駄遣いと言うべき巨大開発は直ちに中止すべきです。

● 私のこの間の取組み

私は、この 8 年間に、区民のみなさんの要求の声に応えるべく、区議会の中で奮闘してきただけでなく、様々な活動を行ってきました。その一部を紹介します。

◇ 認可保育園の増設

私が当選して以降、ずっと掲げてきたのは子育て環境の充実で、とりわけ保育園の増設でした。認可保育園は、59 園増設されました。このうち、調布地域の保育園は 18 園にのぼります。このほとんどが私立保育園なので、今後は公立保育園の増加を目指すとともに、保育士の労働条件の充実にも取り組んでいきたいです。

◇ 就学援助、入学準備金支給の充実

また、私が 2011 年に初めて議員になって、最初に区議会で取り上げ改善を求めたのは、一定の生活困難世帯に対する、子どもの学校の入学準備金の前倒し問題でした。この費用は、6 月に支給されていましたが、4 月に入学する子どもたちの制服や学校入学準備のための費用の支給ですから、6 月支給では「入学準備」になっていません。この入学準備金は、2018 年から 3 月支給と前倒しが実現しました。

さらに、就学援助金の金額も今年から増額されることになりました。例えば小学校の場合、これまで 23,890 円でしたが、47,380 円に増額されました。小中学校に入学する子どものための就学準備費用は 10 万円近くかかることも珍しくありませんので、これでも十分とは言えませんが、金額が増え、支払いが準備の名にふさわしい状況になったことは、大きな前進だと考えており、この問題に取り組んだ私にとっても自慢の成果です。

◇ その他

その他にも、上池台三丁目公園にある水害対策用の調整池の視察、リニア問題で国交省に対する申し入れ、地震対策でブロック塀等改修工事助成事業の推進といった課題に取り組んだほか、区民の皆さんから寄せられた声を受け、図書館の椅子や、ゆうゆうクラブの施設の改修といった作業にとりかかるよう区に申し入れて即座に実現させるといった活動をしてきました。

● 私の公約

今年、4月に区議会議員選挙が行われます。

私たち日本共産党大田区議団は、以下の柱を公約としています。

- ・ 待機児ゼロ（区立認可保育園増設）
- ・ 特養ホーム増設
- ・ 新空港線の白紙撤回
- ・ 区営住宅の増加（借り上げ型を含む）
- ・ 呑川ユスリカ対策
- ・ 憲法9条を守る

● 大事にしていきたいこと

私は、党是である、「国民の苦難軽減に寄り添う」を实践する活動を大切にしています。

そのため、区民からの相談対応を、一番重視して取り組んできましたし、これからも取り組みたいと考えています。

この間、年間100件以上の相談対応をしてきました。この相談に対応する中で、「福井区議に相談して良かった」と言ってもらえることが何よりうれしいです。

もちろん、私には能力的にも権限としても限界があります。ですが、私には、私を支えてくれる日本共産党や、後援会、地域のネットワークがあります。こうしたみなさんのお力もお借りしながら、今後も区民の暮らしの中に生まれる困難に寄り添い、それが少しでも軽減されるために力を尽くす、区議会議員でありたいと考えています。

以上